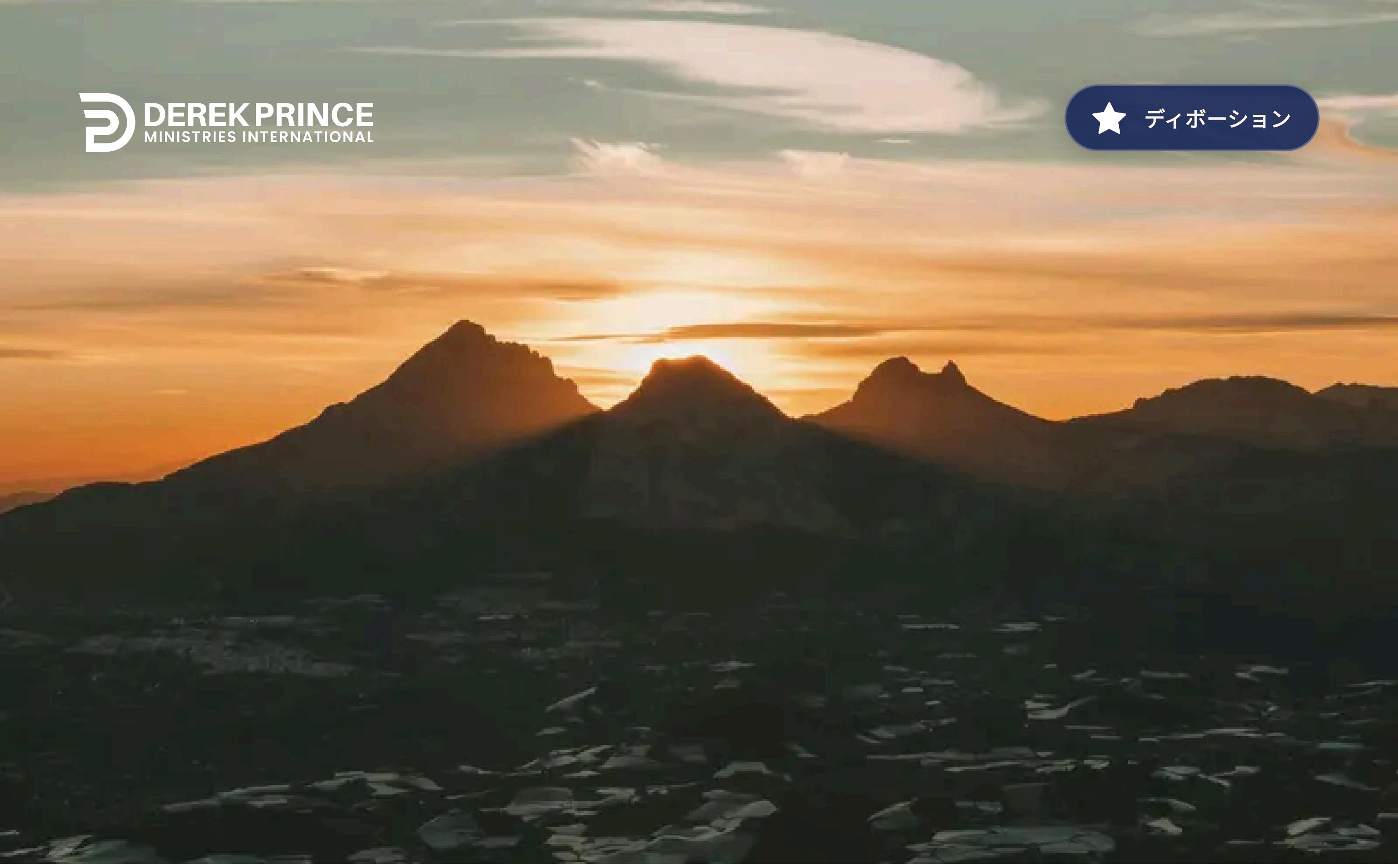



DEREK PRINCE
MINISTRIES INTERNATIONAL

ディボーション

霊における礼拝

私は神と結ばれ、霊において神と一つになりました。

日 1970/365

Declaring God's Word
著者 デレク・プリンス

私たちのからだ、たましいに対して主が求めておられることを満たすとき、私たちの霊は解放され、神との交わりの中に入ります。その交わりは、人間の堕落に よって失う前の交わりよりもさらに素晴らしいものです。パウロは、コリント人へ の手紙第一６章１７節でこう言いました。

> 「しかし、主と交わる者は、主と一つの 霊になるのです。」

その意味は明らかです。贖われた霊は、神との親密な結びつきを楽しむことができるようになったのです。しかし、この直接的で親密な神との結びつきを経験できるのは、たましいでもからだでもなく、霊だけなのです。

私たちの霊がこの神との一致に入るのは、おもに礼拝の行為を通してです。ヨハネの福音書４章２３～２４節で、イエスは言われました。

> 「しかし、まことの礼拝 者たちが、御霊と真理によって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。…神は 霊ですから、神を礼拝する人は、御霊と真理によって礼拝しなければなりません。」

イエスは、真の礼拝は霊の活動でなければならないことをはっきりと言われ たのです。

現代の教会では、礼拝の本質がほとんど理解されていません。その理由はおもに、 霊とたましいの区別ができていないからです。礼拝は人を楽しませるためのもので はありません。礼拝は賛美と同じでもありません。私たちはたましいで神を賛美し ますし、それは正しいことです。賛美を通して私たちは神の臨在に入ります。しか し、いったん神の臨在に入ったら、神との真の霊的な結びつきを楽しむのは、礼拝 を通してです。このように神を礼拝できるようになることが、救いのゴールとなる のです。まず地上で、そして後に天においてです。それは、人間ができる最高で最 も神聖な活動です。しかし、礼拝は、たましいとからだが霊に服従し、霊と調和し た時にのみ可能になるのです。そのような礼拝は、言葉にはできないほど深いもの である場合がほとんどです。神との濃密で静かな結びつきとなるのです。

イエスさま、私をあなたに結びつけてくださったことを感謝します。私 の最高の活動は神さまと結びつき、霊と真によって礼

© 2008 - デレク・プリンス・ミニストリーズ・インターナショナル・インク

拝することであると宣言します。私は神さまと一つとされ、霊
において一つとされたことを宣言します。アーメン。

ディボーション ★
原稿: WD-B097-187-JPN
最終更新日: 05 Oct 2026
ウェブサイト: Derekprince.com/ja/resources

